

# 「在宅医療に関する意識調査」結果

医療対策局医務国保課

「在宅医療に関する意識調査」にご協力いただき、ありがとうございました。  
実施結果を次のとおり報告します。

## 1 概要

### (1) 実施期間

平成26年5月20日（火）から平成26年6月9日（月）まで

### (2) 回答率等

対象者数 1,182人

回答者数 892人

回答率 75.5%

### (3) 回答者の属性

性別

男性 478人（53.6%）、女性 414人（46.4%）

年代別

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
91人	188人	216人	206人	160人	31人
10.2%	21.1%	24.2%	23.1%	17.9%	3.5%

地域別

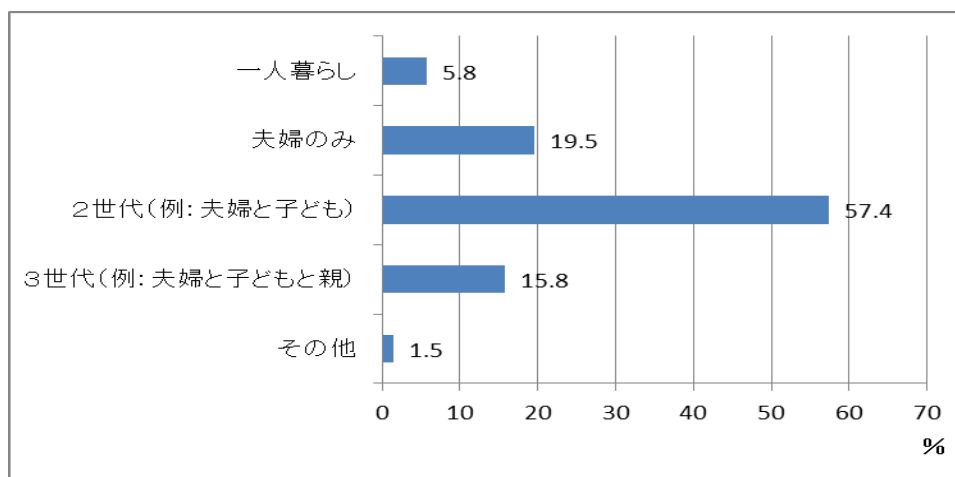
桑名・員弁	四日市	鈴鹿・亀山	津	松阪
108人	199人	115人	159人	107人
12.1%	22.3%	12.9%	17.8%	12.0%
伊勢	志摩	伊賀	東紀州	
86人	29人	65人	24人	
9.6%	3.3%	7.3%	2.7%	

※桑名・員弁：桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡、四日市：四日市市・三重郡  
鈴鹿・亀山：鈴鹿市・亀山市、津：津市、松阪：松阪市・多気郡、伊勢：伊勢市・度会郡  
志摩：鳥羽市・志摩市、伊賀：伊賀市・名張市、東紀州：尾鷲市・熊野市・北牟婁郡・南牟婁郡

## 2 結果

### Q1 家族構成について

「2世代（例：夫婦と子ども）」が57.4%（512人）と最も多く、2番目の「夫婦のみ」19.5%（174人）、3番目の「3世代（例：夫婦と子どもと親）」15.8%（141人）を大きく上回っています。

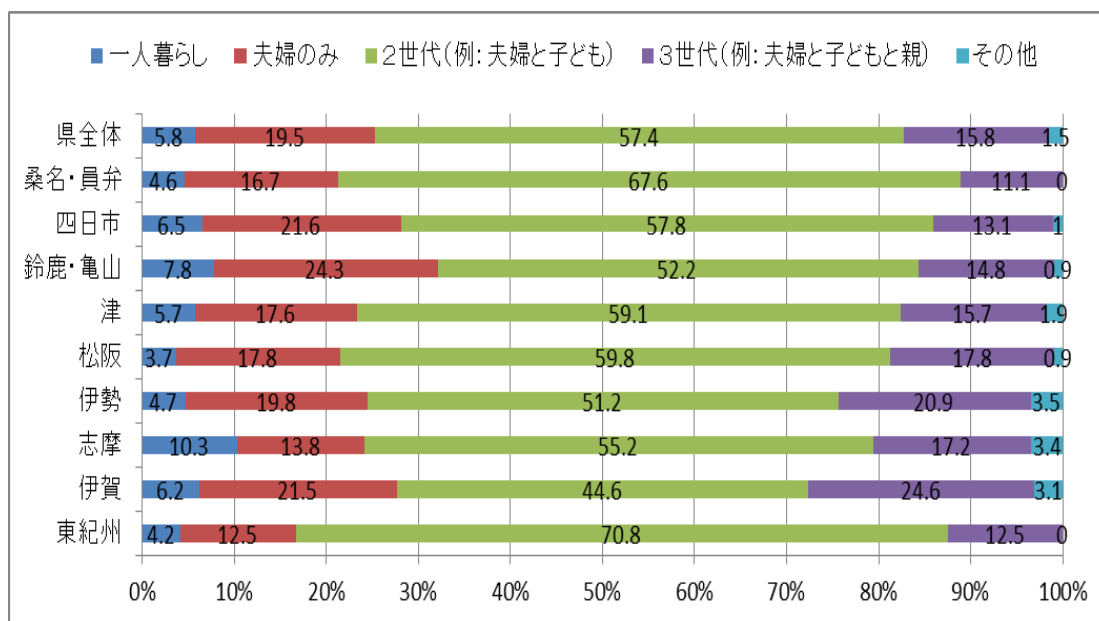


※「その他」回答のうち、家族構成が判断できるものは該当箇所に分類し直しています。

地域別にみると、「2世代（例：夫婦と子ども）」の割合は、東紀州（70.8%）、桑名・員弁（67.6%）で多く、伊賀（44.6%）で少なくなっています。

「夫婦のみ」の割合は、鈴鹿・亀山（24.3%）で他の地域より多く、東紀州（12.5%）、志摩（13.8%）で少なくなっています。

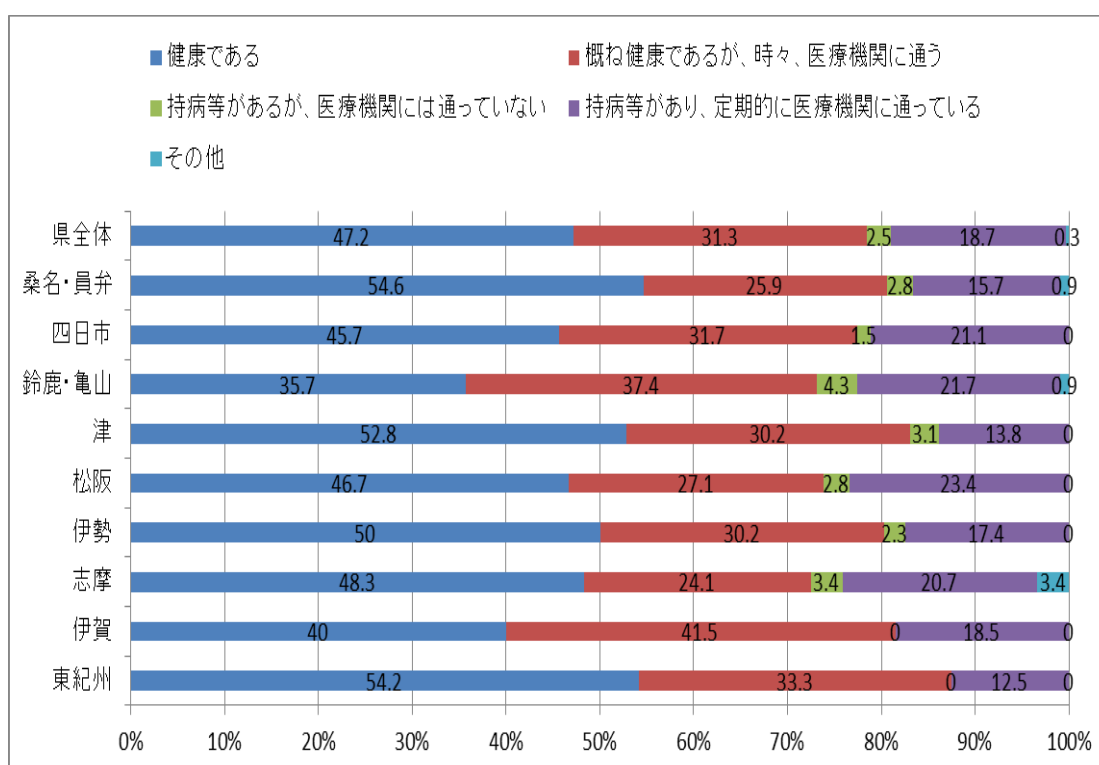
また、「3世代（例：夫婦と子どもと親）」は、伊賀（24.6%）、伊勢（20.9%）が多くなっています。



## Q2 健康状態について

「健康である」と「概ね健康であるが、時々、医療機関に通う」を合わせた割合は、県全体で78.5%（700人）となっています。

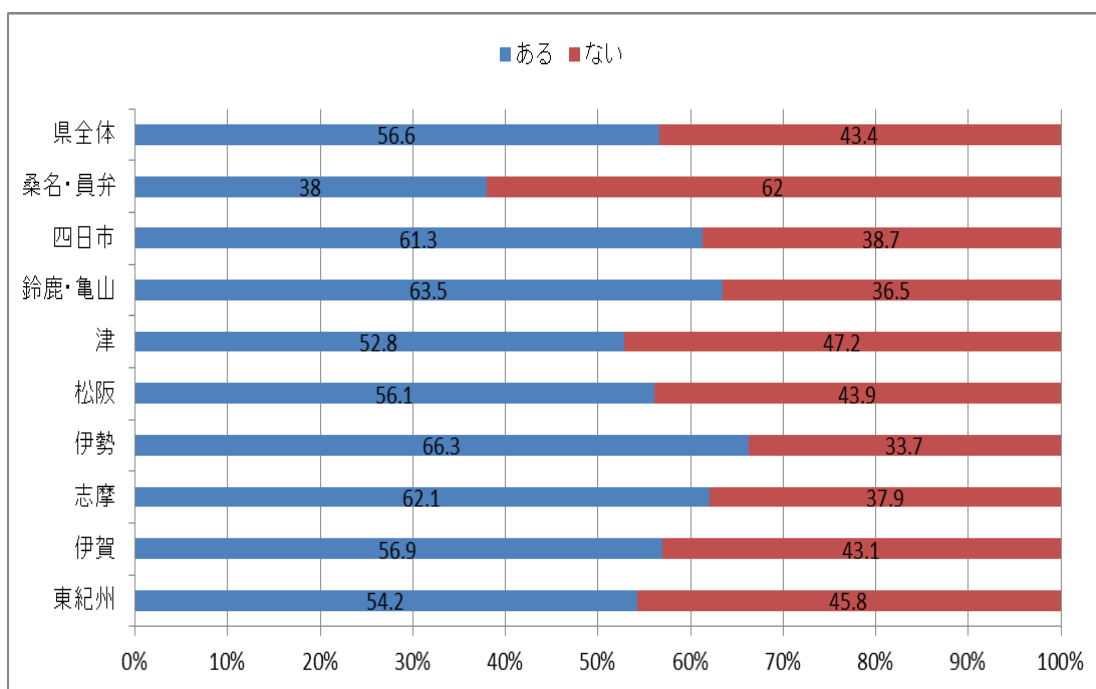
同割合は、東紀州（87.5%）、津（83.0%）で他の地域より多く、逆に志摩（72.4%）、鈴鹿・亀山（73.1%）、松阪（73.8%）で少なくなっています。



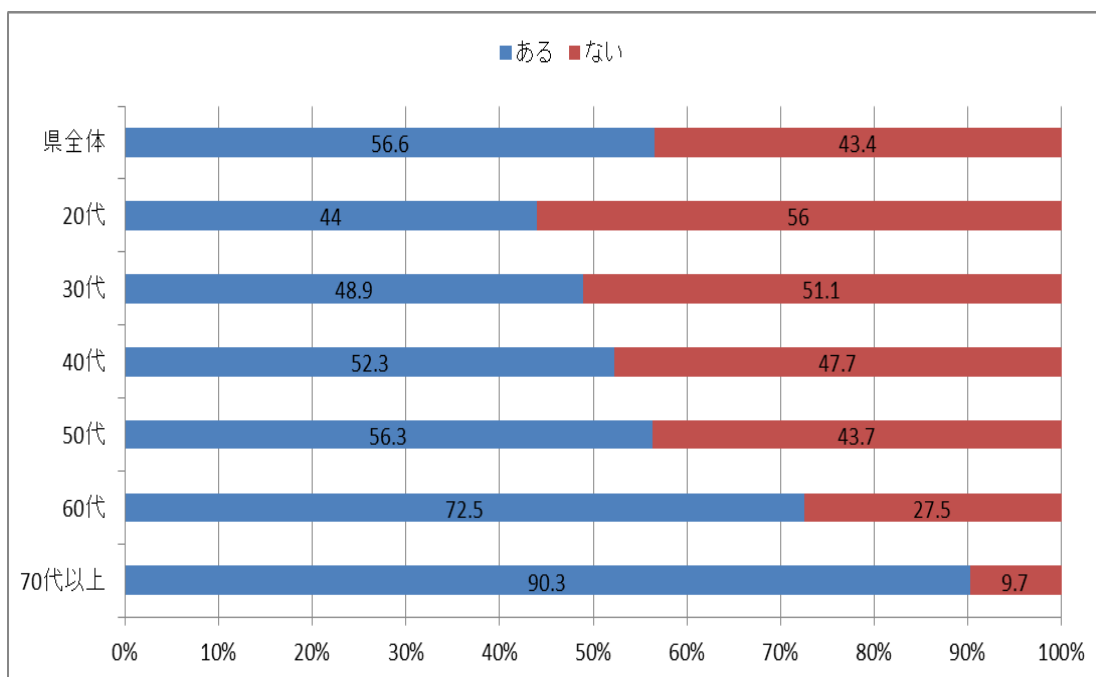
### Q3 かかりつけ診療所・病院について

県全体では、56.6%（505人）の方が、かかりつけの診療所等を持っていると回答しています。

桑名・員弁が38.0%と他の地域を大きく下回っています。



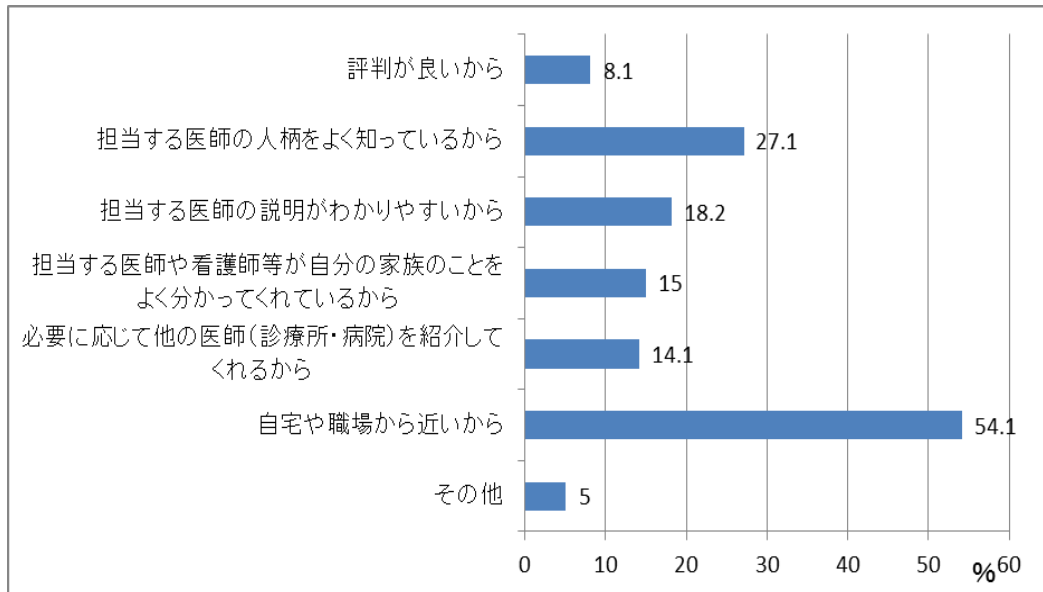
また、年代別では、20代（44.0%）が最も低く、年代が上がるにつれ、かかりつけの診療所等を持っている割合も多くなっています。



#### Q4 かかりつけにしている理由について

Q3で「ある」を選んだ方（56.6%・505人）に回答いただきました。

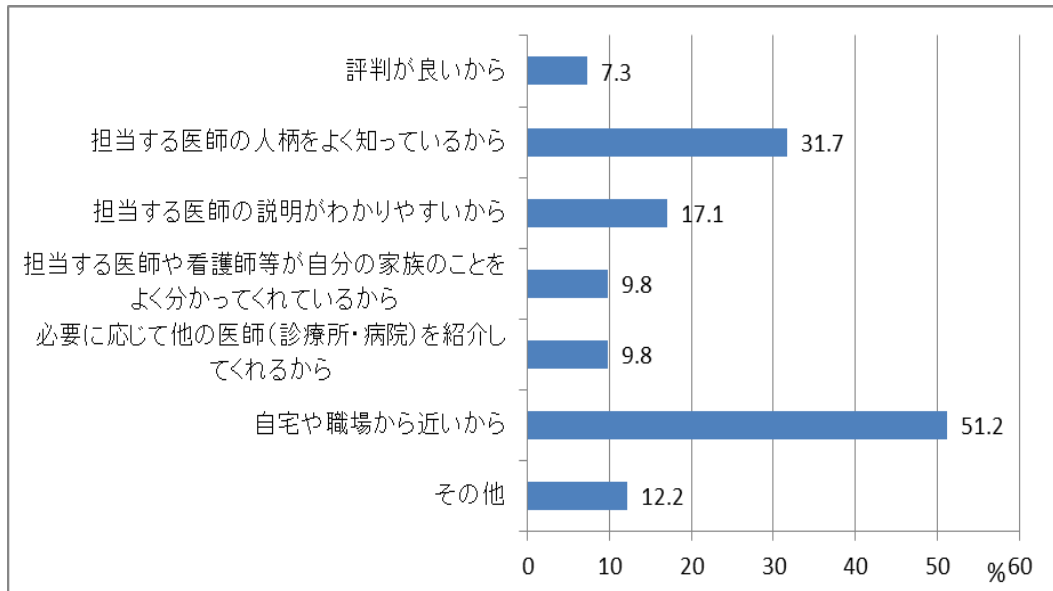
「自宅や職場から近いから」と回答した人の割合が54.1%と最も多くなっています。



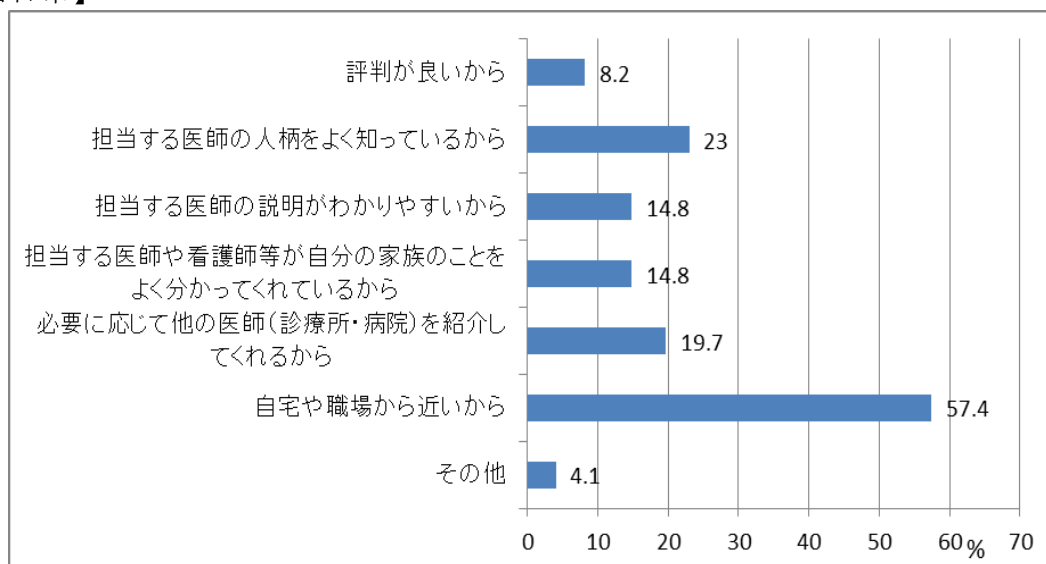
地域別にみると、すべての地域で「自宅や職場から近いから」と回答した人の割合が最も多くなっています。

また、志摩以外の地域は「担当する医師の人柄をよく知っているから」が2番目に多く、比較的良好な傾向となっています。

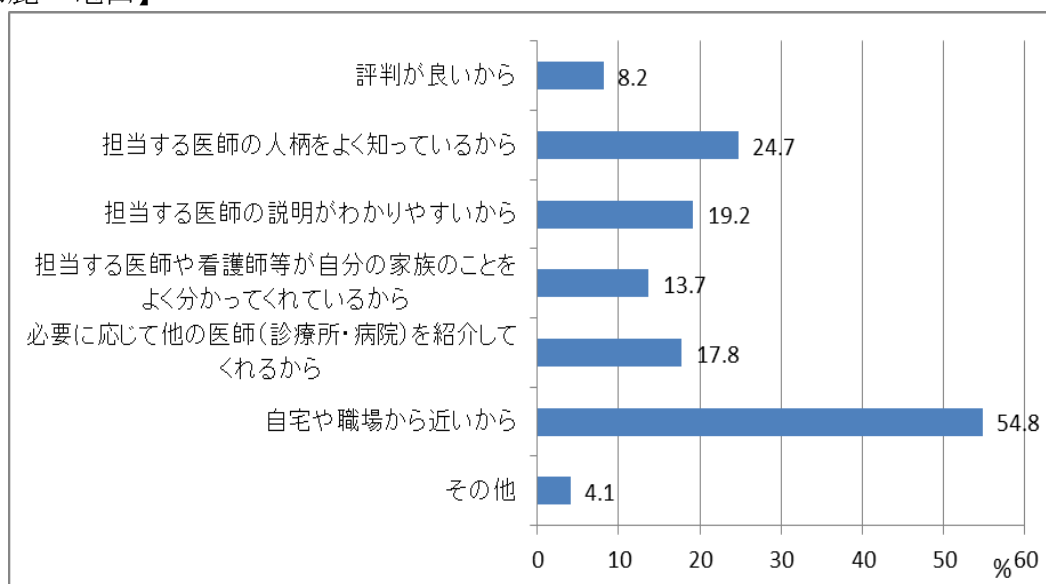
#### 【桑名・員弁】



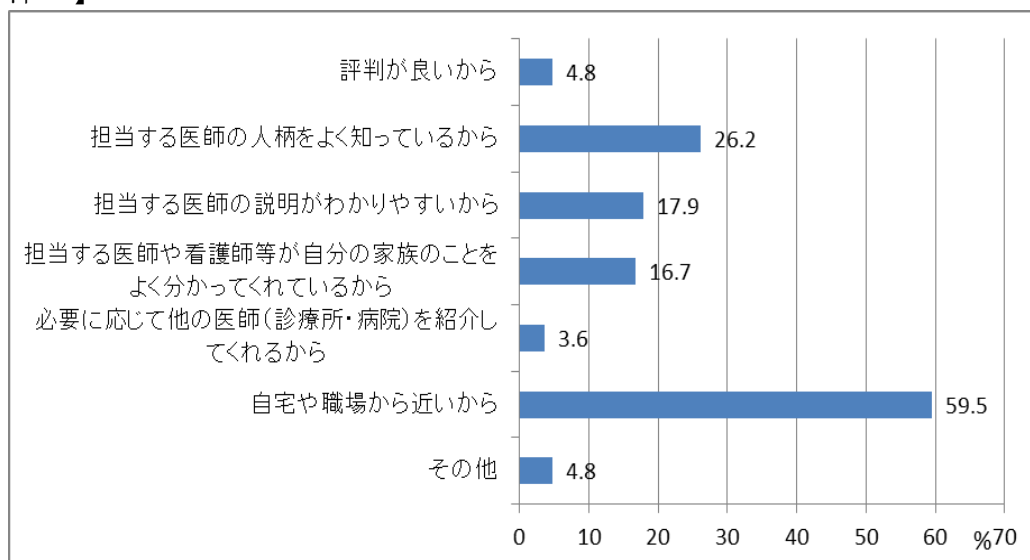
【四日市】



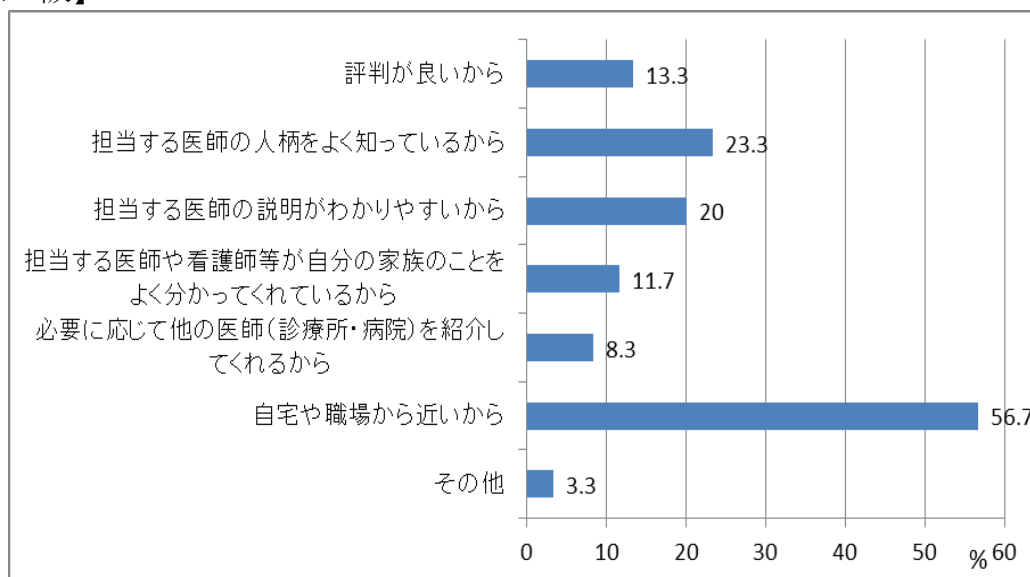
【鈴鹿・亀山】



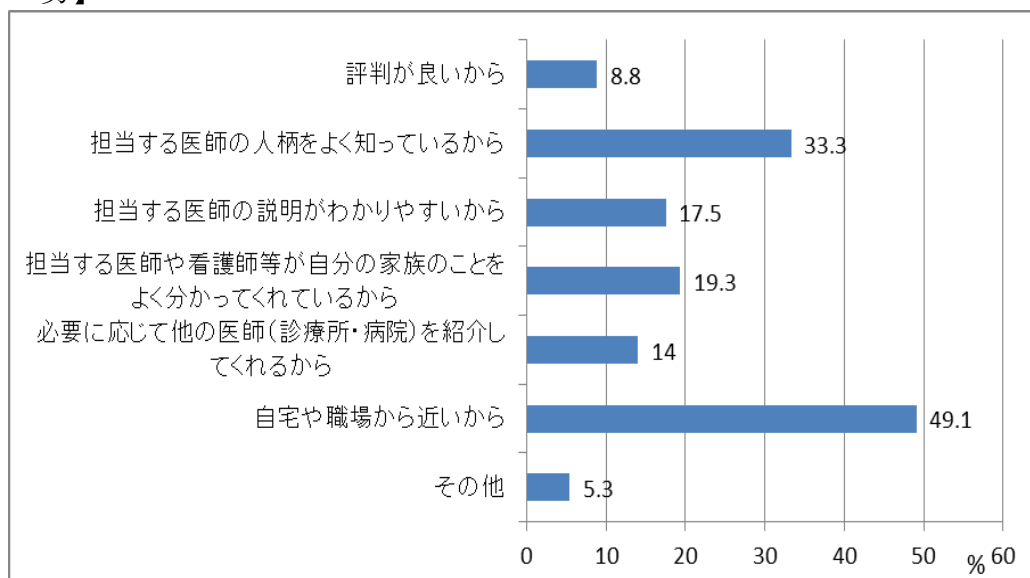
【津】



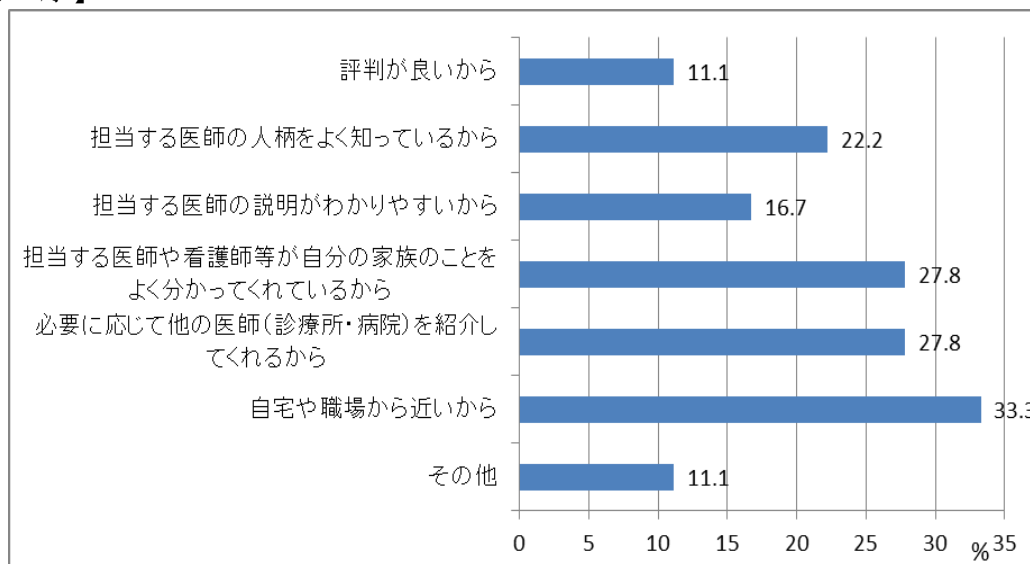
【松 阪】



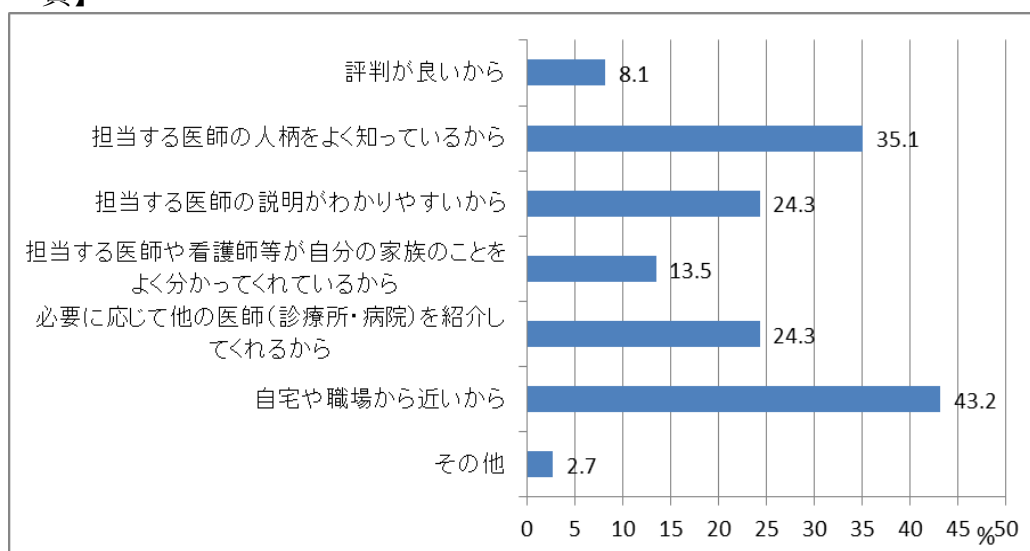
【伊 勢】



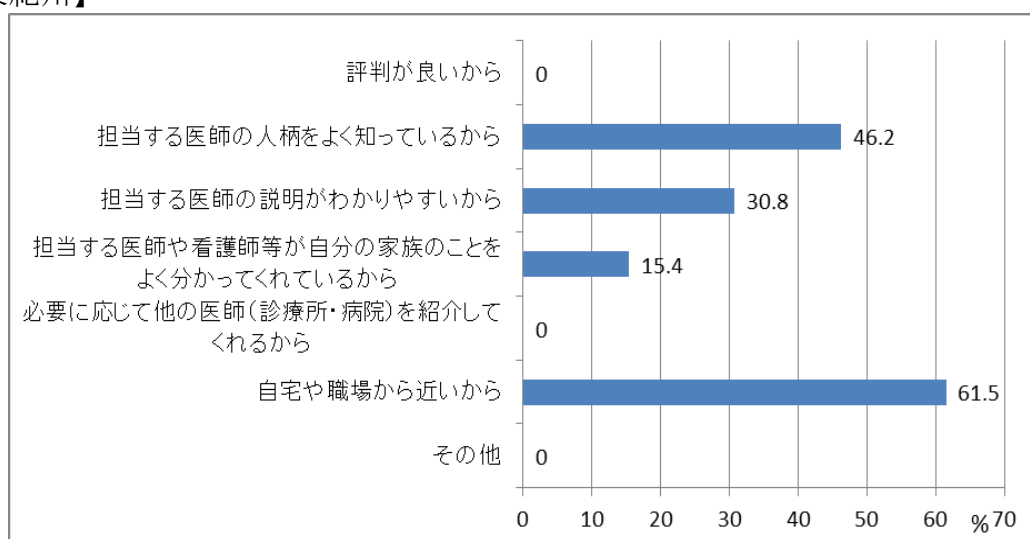
【志 摩】



## 【伊 賀】

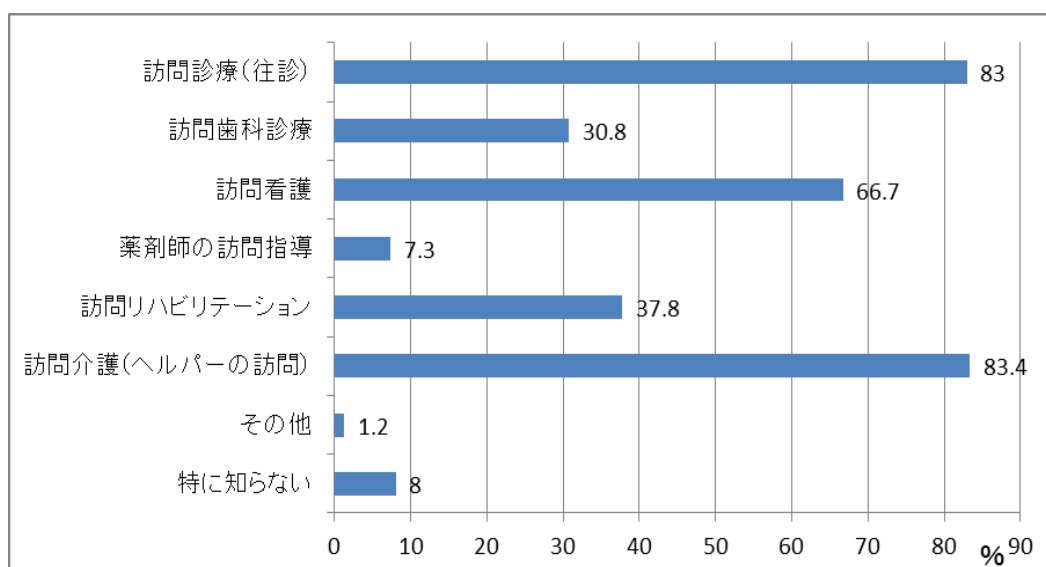


## 【東紀州】



## Q 5 在宅医療サービスについて

「訪問介護（ヘルパーの訪問）」と「訪問診療（往診）」は、ともに8割を超える方（83.4%・744人、83.0%・740人）が知っていると回答しています。「訪問看護」についても66.7%（595人）と高くなっています。

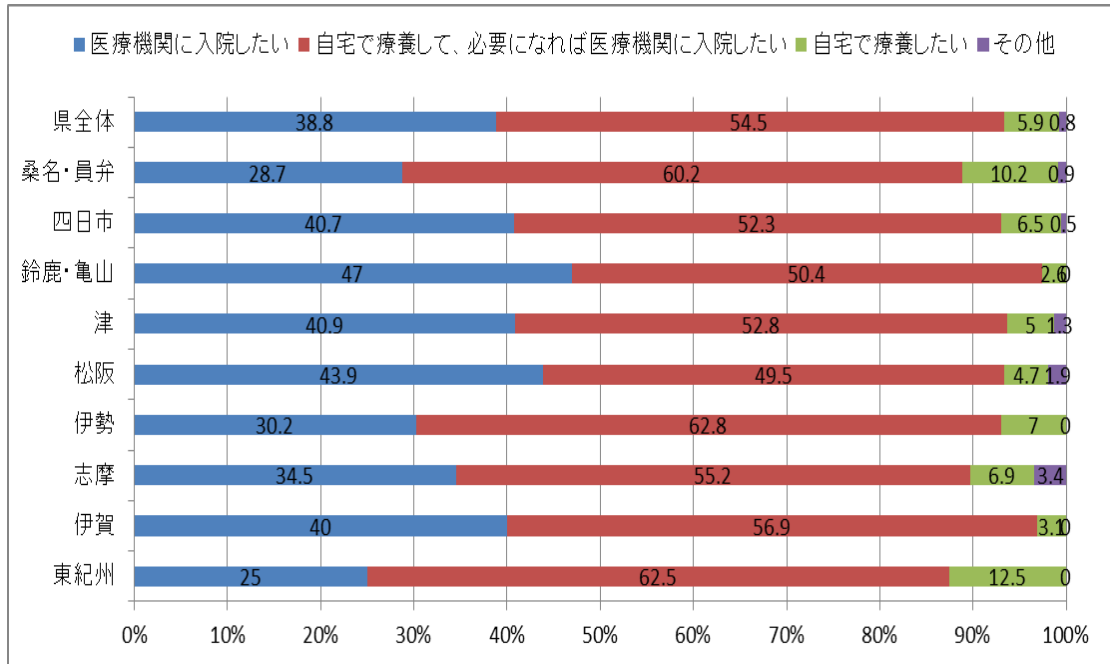


## Q6 療養場所について

「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」と「自宅で療養したい」を合わせた割合は、県全体で60.4%（539人）となっています。

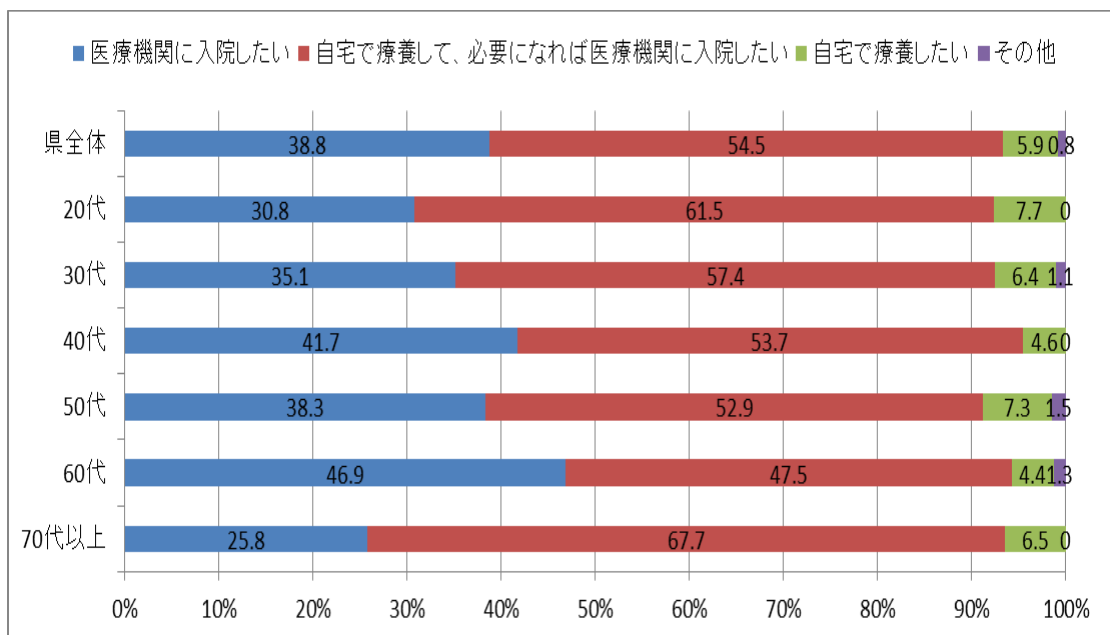
地域別では、東紀州の同割合が75.0%、桑名・員弁が70.4%、伊勢が69.8%と多くなっています。

一方で、「医療機関に入院したい」の割合は、県全体で38.8%（346人）となっており、鈴鹿・亀山と松阪の割合が、それぞれ47.0%、43.9%と多くなっています。



また、年代別では、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」と「自宅で療養したい」を合わせた割合は、70代以上が74.2%、20代が69.2%と多くなっています。

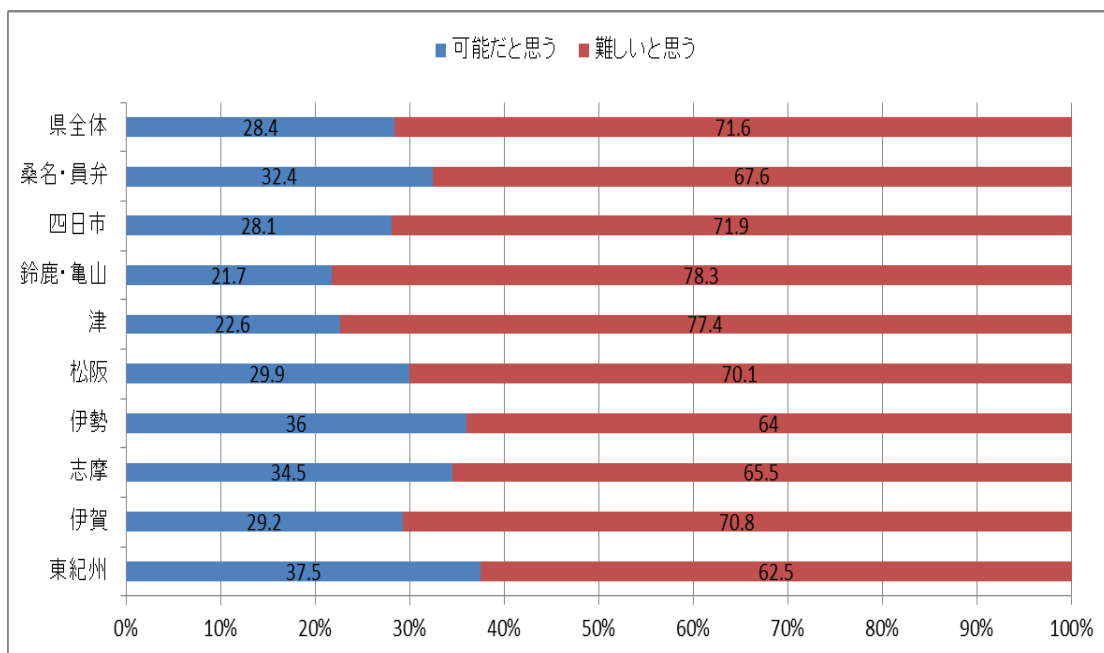
「医療機関に入院したい」の割合は、60代が46.9%と最も多くなっています。





### Q7 自宅で療養できる可能性について

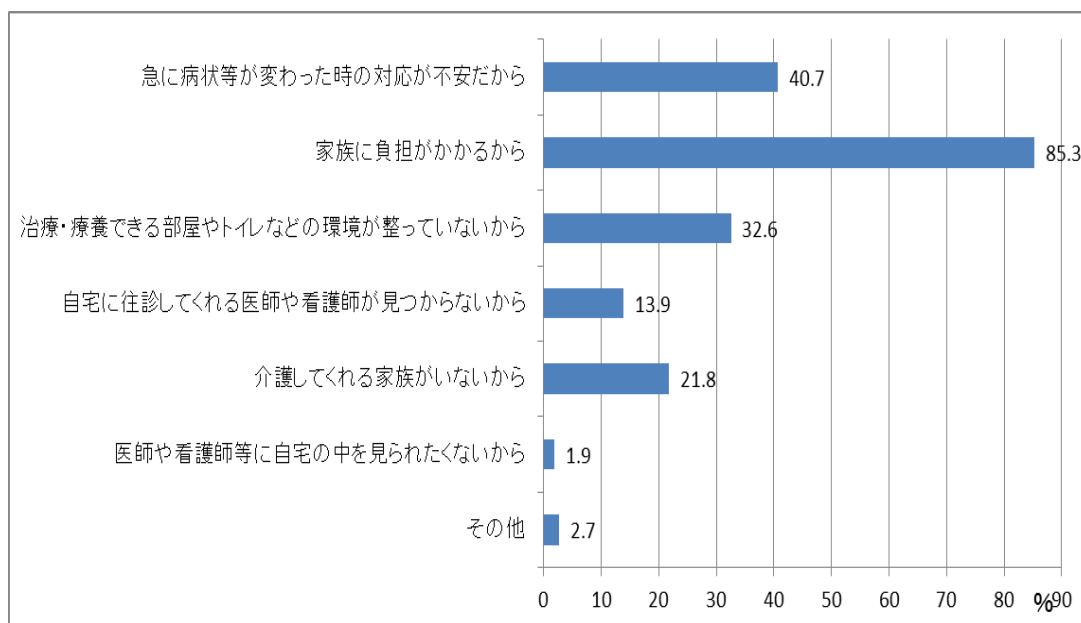
7割を超える方（71.6%・639人）が「難しいと思う」と回答しています。地域別では、鈴鹿・亀山が78.3%、津が77.4%と多くなっています。



### Q8 自宅で療養が難しい理由について

Q7で「難しいと思う」を選んだ方（71.6%・639人）に回答いただきました。

「家族に負担がかかるから」と回答した人が85.3%と、2番目に多い「急に病状等が変わった時の対応が不安だから」を大きく上回っています。

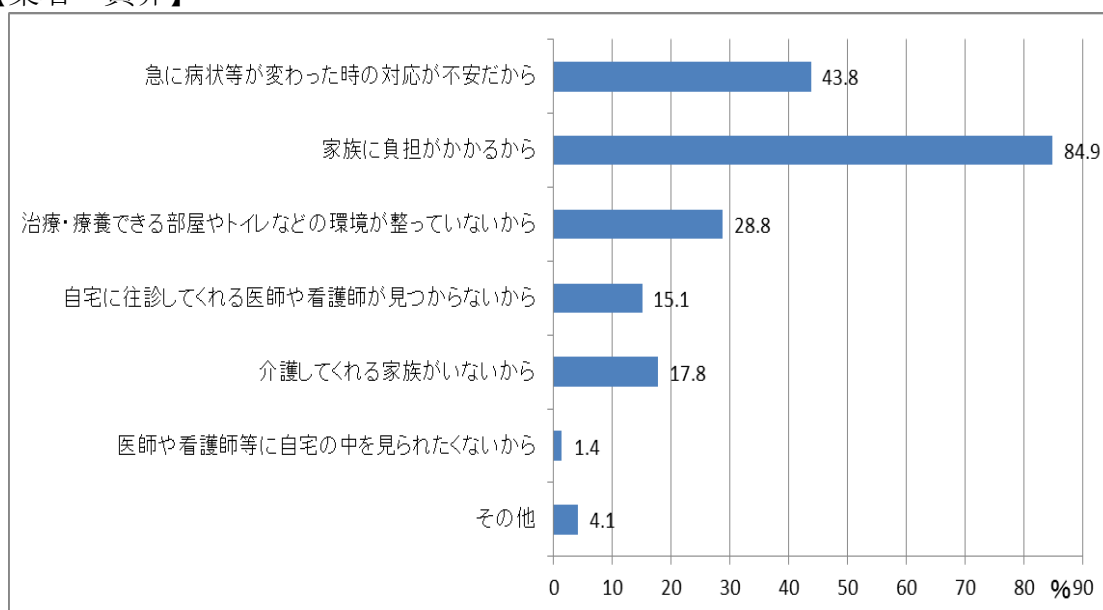


地域別にみると、すべての地域で「家族に負担がかかるから」と回答した人の割合が他を大きく上回っています。

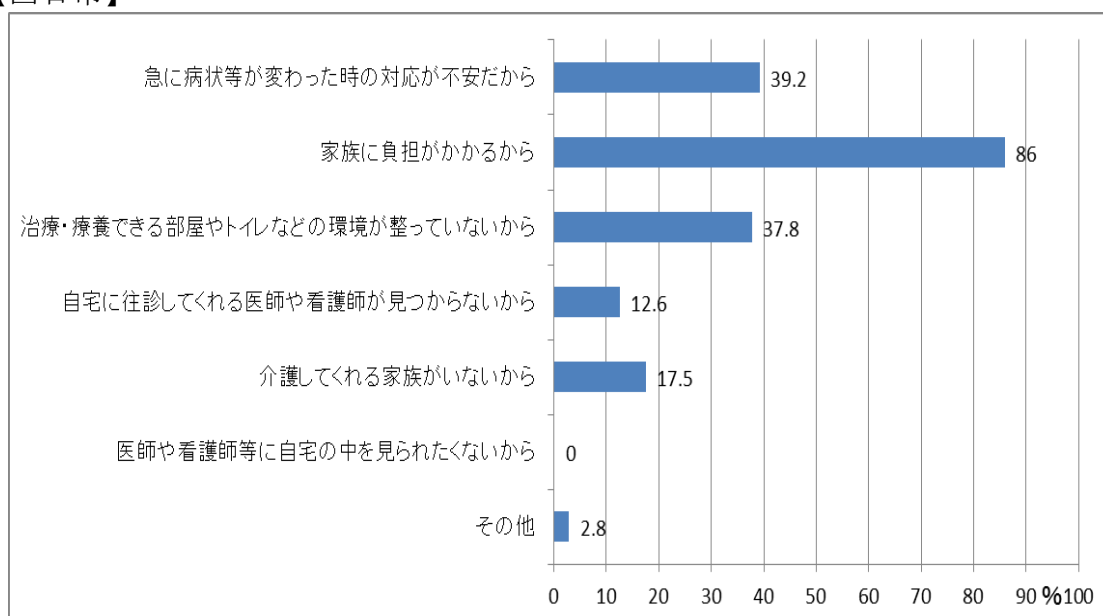
また、志摩と東紀州以外の地域は、比較的によく似た傾向となっており、「急に病状等が変わった時の対応が不安だから」が2番目に多い回答となっています。

志摩と東紀州については、「治療・療養できる部屋やトイレなどの環境が整っていないから」が2番目に多い回答となっています。

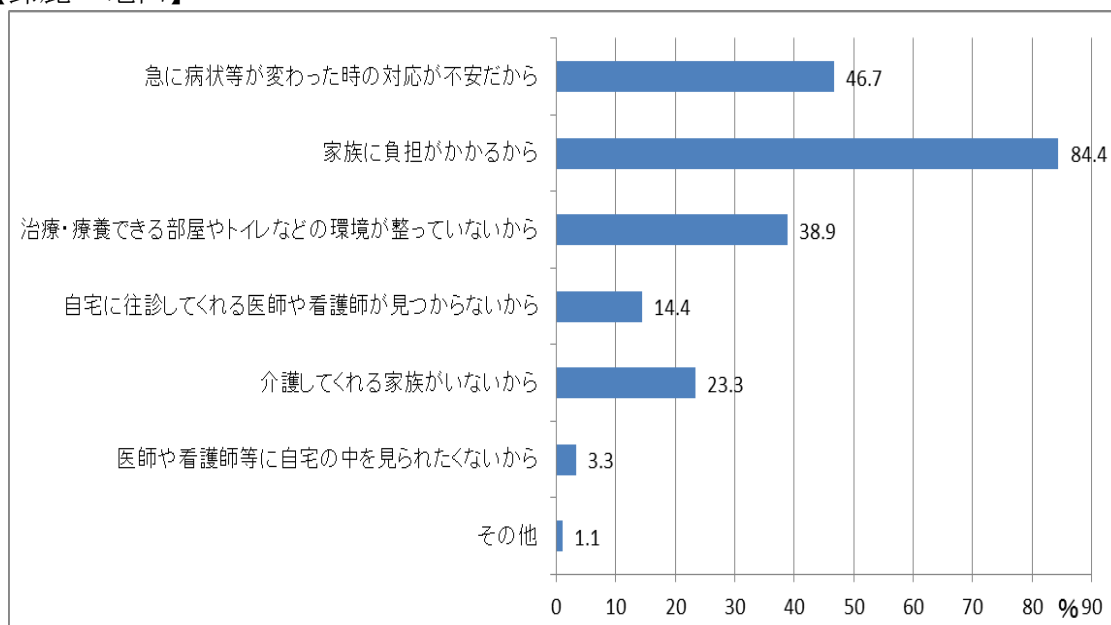
### 【桑名・員弁】



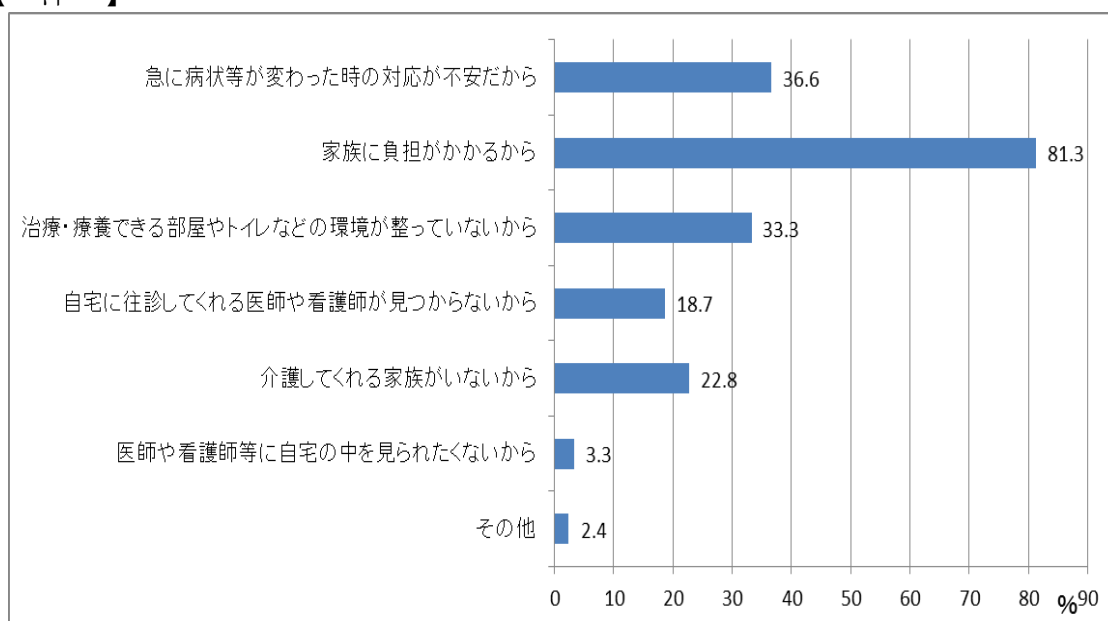
### 【四日市】



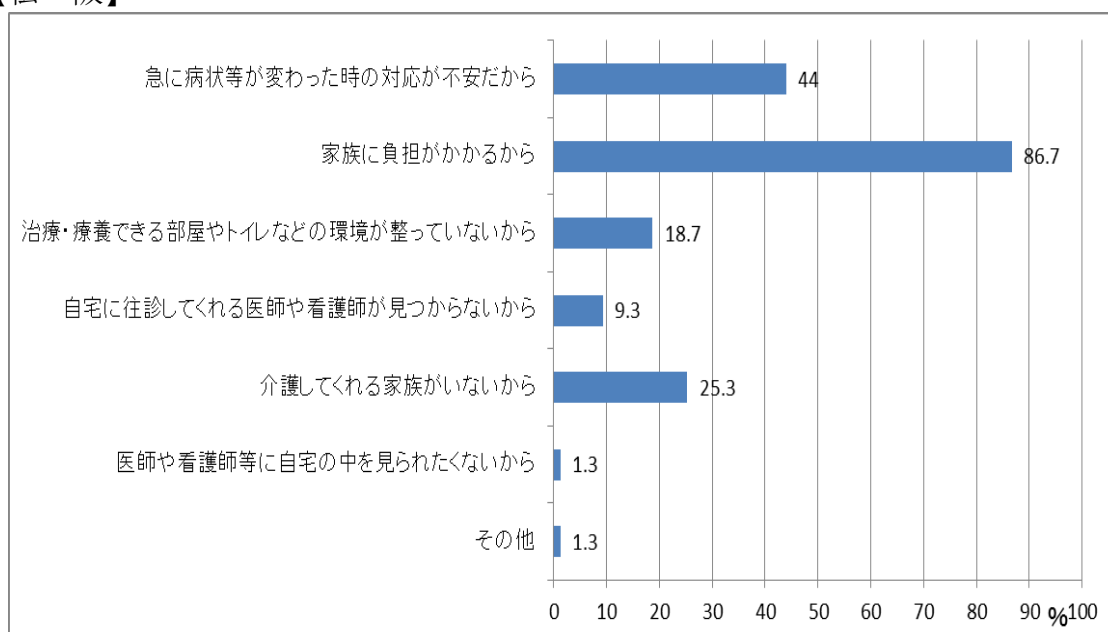
### 【鈴鹿・亀山】



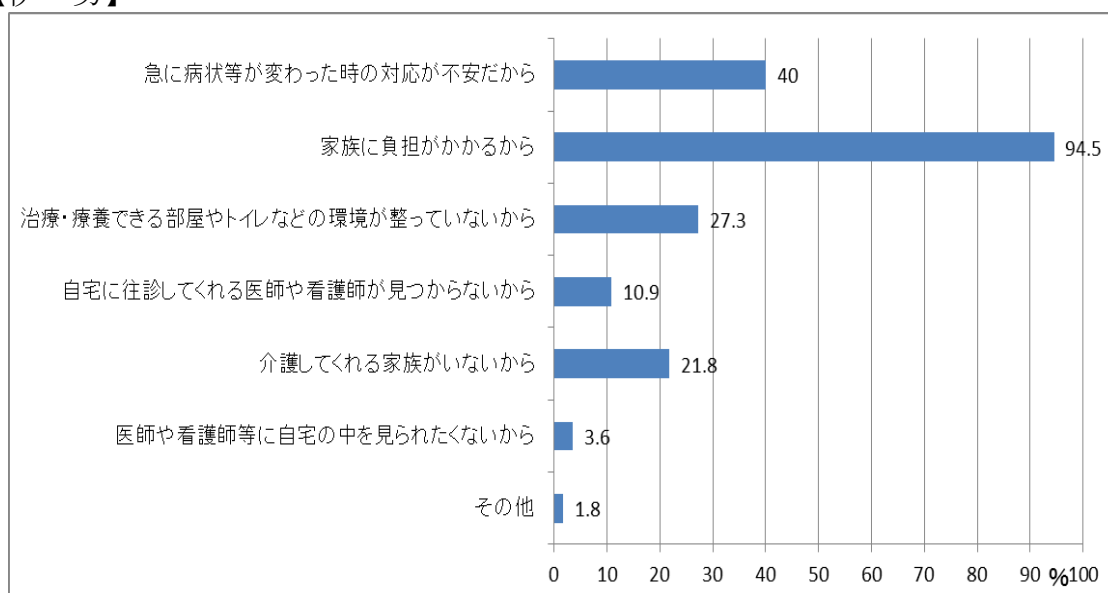
【 津 】



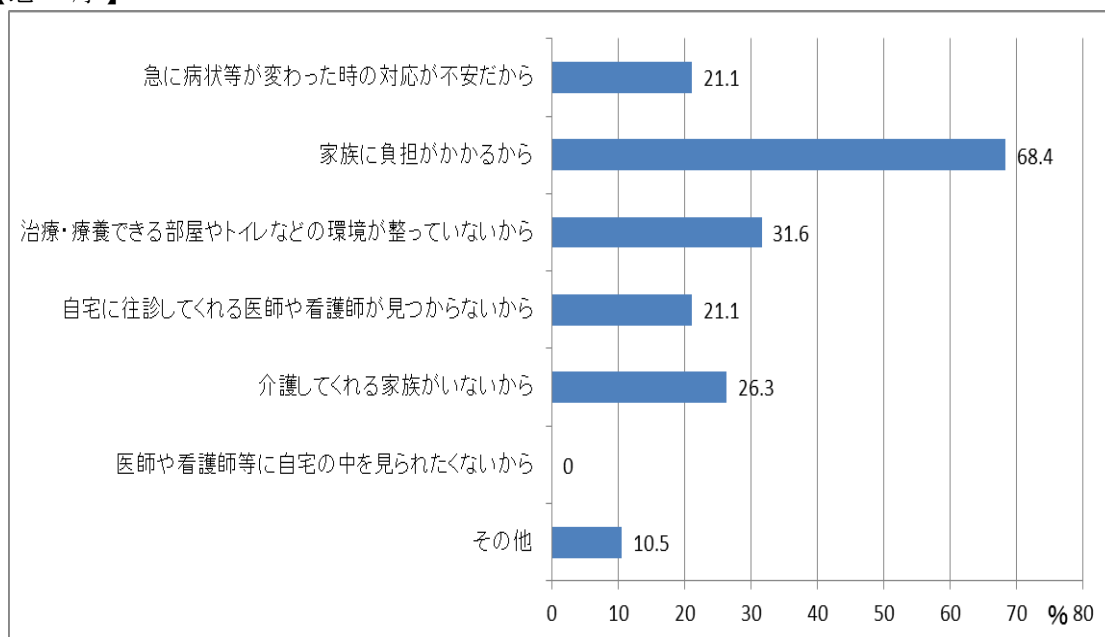
【松 阪】



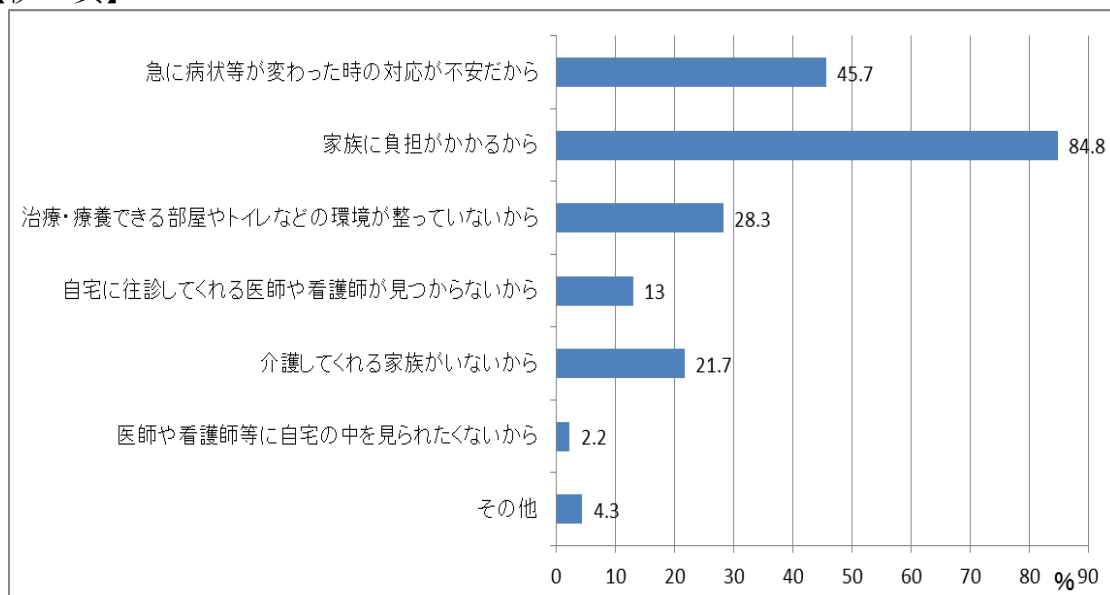
【伊 勢】



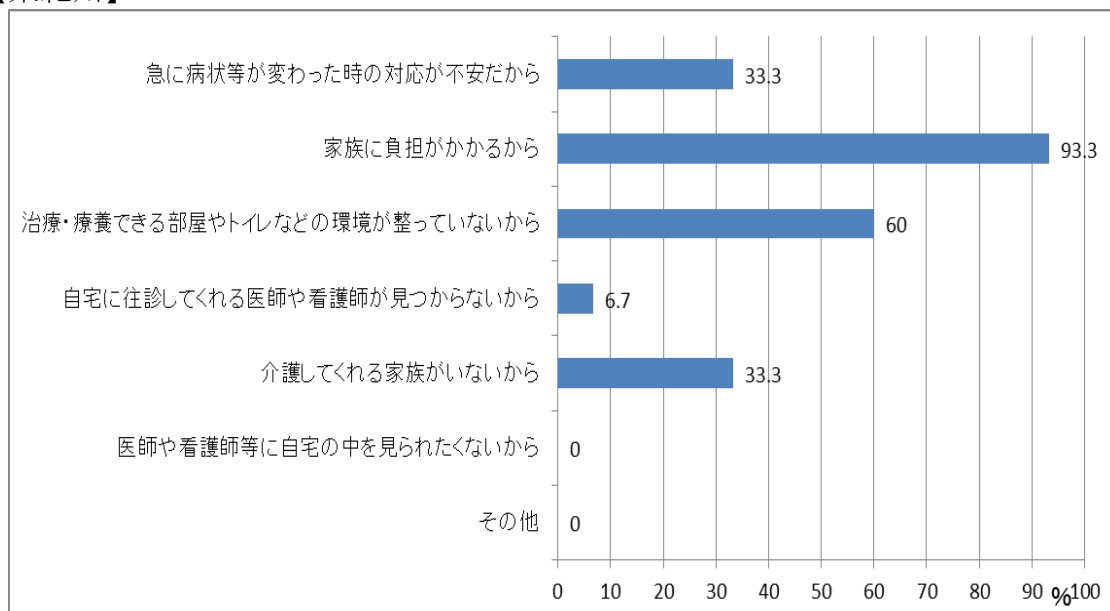
### 【志 摩】



### 【伊 賀】



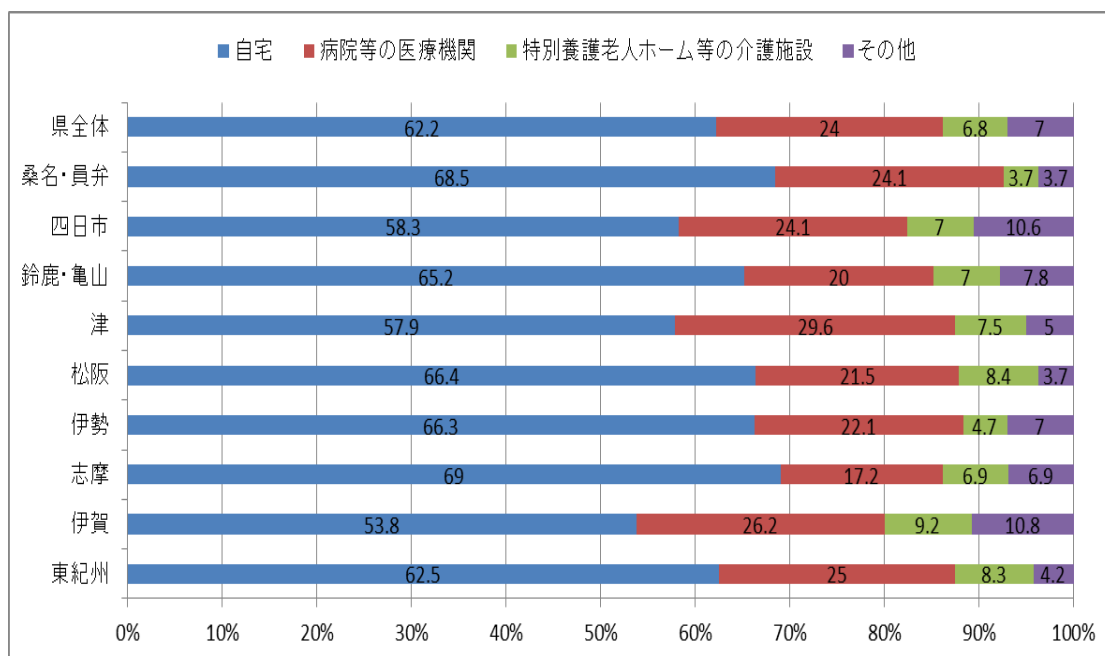
### 【東紀州】



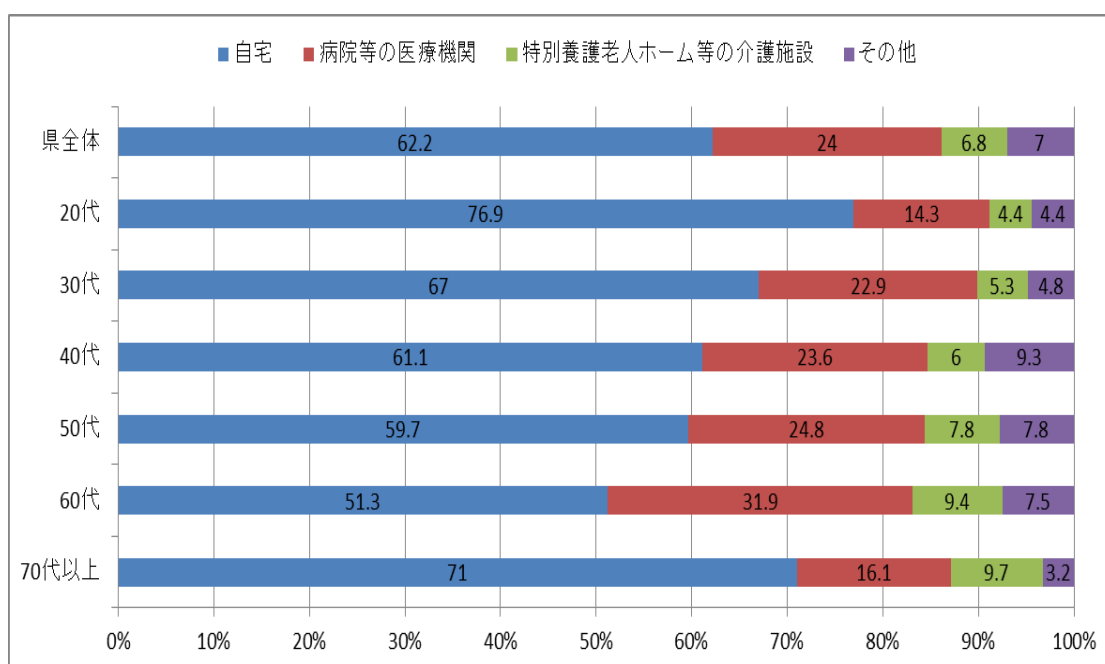
### Q9 看取りについて

6割以上の方（62.2%・555人）が看取りを希望する場所として「自宅」を選んでいます。

地域別では、志摩（69.0%）と桑名・員弁（68.5%）が7割近い値となっています。一方、伊賀の割合は、53.8%と少なくなっています。



また、年代別では、「自宅」での看取りを希望する割合が、20代（76.9%）で最も多く、年代が上がるとともに少なくなりますが、70代以上では、一転して71.0%と多くなります。



Q9では、他の問に比べ「その他」回答（7.0%・62人）が多くありました。その主な内容は「どこでもいい」「特になし」「考えていない」でした。